

6 薬第213号
令和6年（2024年）6月24日

（一社）長野県医師会長 様
（一社）長野県歯科医師会長 様
（一社）長野県薬剤師会長 様
長野県病院薬剤師会長 様

長野県健康福祉部長
（公印省略）

病院薬剤師確保事業奨学金返還補助金交付要綱に規定する県が策定する
研修プログラムについて（通知）

本県の健康福祉行政の推進については、日ごろから格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、このことについて、今般、病院薬剤師確保事業奨学金返還補助金交付要綱第11条第1項に規定する、県が策定する研修プログラムを、別添のとおり作成しました。

また併せて、病院薬剤師確保事業奨学金返還補助金交付要領別表第3第3項に規定する、知事が必要と認める書類として、別添「研修プログラム実施報告書」を定めま

す。
つきましては、それぞれ御了知いただくとともに、貴会員への周知について御配慮願います。

（問合せ先）

担 当 薬事管理課薬事温泉係 小池
電 話 026-235-7157（直通）
ファクシミリ 026-235-7398
電子メール yakuji@pref.nagano.lg.jp

病院薬剤師確保事業奨学金返還補助対象者 研修プログラム

1 研修方針

研修医療機関における医療職の臨床研修の概要を理解し、当該医療機関における診療・医療安全対策の概要を理解するとともに、厚生労働省が示した「薬剤師臨床研修ガイドライン」を参考として、研修項目を個々の業務とするのではなく、患者の入院前－入院中－退院後（在宅）における薬剤師の関わりを深く想定した研修とする。

2 研修方法

医療機関において研修計画を作成した上で、集合研修（講義形式又は演習形式）及び現場（実践）研修により実施する。

研修の実施認定は、1時間を1単位とし、オリエンテーションは3単位、その他は1単位以上とする。

3 研修項目

オリエンテーション（研修医療機関における臨床研修の概要、医療安全対策の概要）
処方せん監査（疑義照会事例の検討・処方解説）

医療安全（インシデントの防止・報告・対応、薬に関する医療事故事例、災害時対応）

感染制御（感染制御における薬剤師の役割、症例検討）

調剤業務（調剤業務の遂行とそれに必要な知識とスキル習得に向けた実践）

医薬品の供給と管理業務（医薬品の供給と管理体制の理解、管理業務の実践）

医薬品情報管理業務（医薬品情報の収集・評価、整理・加工、提供のスキル）

病棟業務（患者の病態に応じた服薬指導やフォローアップ、チーム医療参加）

無菌調製（適切な無菌的混合調製に対する理解、実践）

がん化学療法（がん領域における薬剤師の役割、緩和ケアにおける薬剤師の役割）

4 研修期間

入職後、原則として初年度の1年間で実施する。

5 留意事項

オリエンテーションについては、臨床研修への円滑な導入、医療の質・安全性の向上、多職種連携の強化等を目的として、研修開始後の早い時期に、数日～2週間程度行うことが望ましい。

また、現場（実践）研修の初期は、いずれの項目も、指導薬剤師の目の届くところで実践を行うこととし、一定のレベルに達すれば研修者一人で実践を行うとともに、指導薬剤師が面談をする機会を設け、研修の進捗状況について定期的な確認を行うことが望ましい。

《オリエンテーション例示》

- ① 薬剤師臨床研修・プログラムの説明
理念、到達目標、研修目標と方略、評価、修了基準、指導薬剤師の紹介。
- ② 医療倫理
人間の尊厳、守秘義務、倫理的ジレンマ、利益相反、ハラスメント、不法行為防止。
- ③ 薬剤師業務の理解と実践
診療録(カルテ・薬歴)記載、保険調剤、各種薬剤部関連機器の取扱。
- ④ 患者とのコミュニケーション
服装、接遇、インフォームドコンセント、困難な患者への対応。
- ⑤ 多職種連携・チーム医療
院内各部門に関する説明や注意喚起、体験研修、多職種合同研修などの早期体験。
- ⑥ 地域連携
地域包括ケアシステムや地域連携の説明、近隣施設(薬局等)の見学。
- ⑦ 自己研鑽
図書館・図書室等(電子ジャーナル)、学習方法、文献検索、EBM。